



この報告は、世田谷区立特別養護老人ホーム 芦花ホームの皆様が、世田谷区歯科医師会指導の下、歯科衛生士・介護スタッフの皆様が、共働して取組んだ研究報告です。

研究成果

世田谷区立特別養護老人ホーム 芦花ホームでは、口腔機能の維持向上に積極的に取り組んでおります。口腔機能は、摂食・嚥下機能のみならず、

★「社会活動性」 ★「コミュニケーション能力」 ★「健康維持」などの

QOLの維持向上に欠かせないものです。

芦花ホームでは、平成21年度から多職種共働で口腔機能維持向上の取組みを開始しました。

健口体操や、口腔粘膜マッサージの実施による口腔乾燥症の改善・嚥下機能の改善に取組み、数値をもって検証評価した結果、粘膜マッサージをすることにより、確実に口腔乾燥症が改善され、嚥下機能の改善に結びつきました。

口腔乾燥症とは、唾液の分泌量低下に加えて、口で呼吸をする（口呼吸）、長期に何らかの治療薬を服用している、精神緊張が続いているといった要因が複雑に絡んだ、若年より高齢者に多い歯科疾患の1つです。症状として軽度の場合は、う蝕、舌苔、口臭、歯周病があり、重度の場合は、嚥下障害・構音障害等が上げられます。

評価の方法は、粘膜マッサージ可能な20名と未実施の20名を選んで、比較評価を実施した結果、明らかに改善が見られ、重度乾燥の方の口腔内水分量が増加し、口腔乾燥が改善しています。それと同時に、実施前は、嚥下が1回もできなかった方を始めとして、皆様嚥下回数も確実に増えました。

この検証結果を踏まえて、透析患者への口腔粘膜マッサージによる、乾燥症の改善効果を分析評価いたしました。

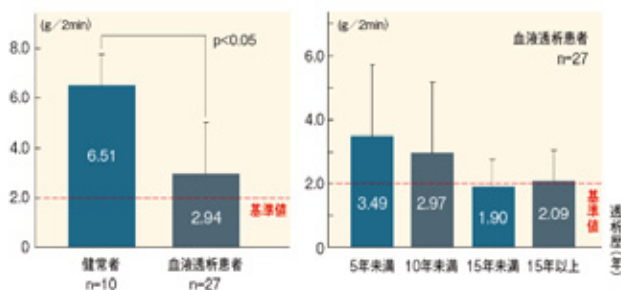
【透析患者の方への口腔粘膜マッサージの効果について】

透析患者は、年々増加傾向にあり、2012年末には、30.1万人となっております。長期透析者では、骨代謝異常・免疫機能低下、更には唾液腺の機能異常による唾液分泌低下、それに伴う口腔乾燥などが指摘されています。

唾液の役割

- ①消化を助ける ②食べ物を飲み込みやすくする ③菌の繁殖を抑え、また口臭を防ぐ
- ④唾液腺ホルモンで老化予防 ⑤虫歯予防に役立つ（口の中を中性にする）が挙げられます。

■サクソテスト…ガーゼを2分間噛んだ時の唾液分泌量



左記は、健常者と透析者の唾液の分泌量を比べたものです。サクソテスト…ガーゼを2分間噛み唾液を測定した結果です。左グラフ 健康者 6.51 g/2min に対し 透析者 2.94 g/2min と健康者の半分以下です。右グラフ 透析期間が長期に及ぶと口腔乾燥が進んでいる。左から、5・10・15・20年で比較しました。※口腔内の水分計測は、「ムーカス」を使用しました。

上記の事前分析の結果、粘膜ブラシ（エラック510ES）による、粘膜マッサージを実施し、その結果を評価

【取り組み内容】

- ①実施期間 平成25年5月～平成25年8月（4ヶ月）
- ②実施時間 毎日16時前後
- ③評価方法
 - ・月末の16時に舌粘膜の水分量を測定
 - ・「ば・た・か」の発音の測定
 - ・60秒以内で唾液を何秒で、何回飲み込めたか（反復唾液嚥下テスト）を行い効果を数値で確認（竹井機器の「健口くん」を使用）



口腔水分量の目安は、30%以上がほぼ正常であり、25%以下が重度の乾燥です。対象者様の実施前は、21.5%で重度でした。2ヶ月後には、30.2%とほぼ正常になりました。嚥下評価では、4月には、60秒で1回だったのが、6月には3回できました。

口腔乾燥の治療は透析法の変更でなく、対症療法である口腔ケアが第一です。

